

大原社会問題研究所五十年史

I 創立前史

創立総会開かる

二月四日高野氏は大阪に行き、大原氏その他関係者と下打合わせを行った。同月九日、愛染園において社会問題研究所創設に関する正式の協議会が開かれた。参会者は、大原孫三郎、河田嗣郎、米田庄太郎、高野岩三郎、高田慎吾、北沢新次郎(早大教授)、柿原政一郎の諸氏である。協議の結果、名称、予算、事業等に関して意見の一致を見、この初会合は事実上大原社会問題研究所の創立総会となった。

創立総会において決定された主な事項は次の通りである。

- (一) 名称を大原社会問題研究所とする。
- (二) 旅費規定(内容略)。
- (三) 毎年七月上旬委員総会を、一二月上旬予算会を開く。
- (四) 本年度予算総額は二万四千四百円とする。
- (五) 出版物の種類は左の通りとする。
 - 1 年報(日本文、英文)
 - 2 社会問題研究叢書
 - 3 社会問題調査報告
 - 4 社会問題翻訳叢書
 - 5 臨時刊行物(講演筆記、目録等)
- (六) 事務所を当分の間大阪市南区下寺町石井記念愛染園に置くこと。東京事務所を東京市京橋区山城町統計協会内に置くこと。

総会散会后、一同は研究所新築用地として予定された天王寺秋ノ坊の敷地を検分した。秋ノ坊は聖徳太子創建以来、貧病者への施薬療養など救済事業の永い伝統をもつ由緒ある寺であった。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)
